

大学院副専攻 ICT実践学座

“e-PICT”

平成30年
4月開講

“e-PICT”: Practical Education Program for Information & Communication Technology
The University of Shiga Prefecture

「現場で使えるICT（情報通信技術）を
基礎の基礎から身に付けたい」

そんな要望に応えるICT実践学座“e-PICT”（イーピクト）を
平成30年4月に開講します

人工知能、IoT（モノのインターネット）、自動運転、、、毎日のように報道されるこれらの最新技術を、現場で役立つ形で学び・実習します（平成29年4月設立の「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」での研究活動等に参加します）。工学系大学院在籍者・工学部出身者はもちろん、他の専門分野のみなさんの受講も広く歓迎します。

◆このような皆さんの受講を大歓迎！

情報系は得意ではないけれど、使えるようになりたい

仕事でICTを使っておらず、
どのような技術があるか、
というところから実習したい

情報系の内容について、パソコン上だけでなく現場のフィールドで応用してみたい

仕事でICTを使わざるをえないが、
もっと上手く使いこなしたい。
原理も知りたい

主専攻だけでなく、自分のスキルが広がるような複数の専門性を持ちたい

◆次のような内容を学修できます（開講科目の例）

情報通信実習（A～D）

e-PICTの根幹。「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」で整備している種々のICT関連環境（LPWA等）・機器（ドローン+赤外線カメラ等）・独自開発ツール（テキストマイニング等）で貴重な実習機会を提供します。地域の現場での実践も推奨。

数理情報工学特論Ⅰ・Ⅱ

情報系技術は、数学的基礎から成っています。大学の数学を復習しながら、それぞれの数学の内容と情報系技術の関連を学びます。（例：微積分→差分法による社会現象解析、線形代数→多変量解析・機械学習、確率統計→因果関係分析）

人工知能

最近の流行だけでなく、これまでの人工知能研究の背景もふまえ、その重要なエッセンスを講義します。

画像情報処理

画像データの成り立ち、画像の多種の特徴抽出法および機械学習に基づいた画像判別・分類法を概説します。

確率過程論

工学的な確率論の取り扱いから始まり、データの性質を統計的に表現する技法を学びます。

